

県企業局に受水料金の値下げの要望書を提出しました

茨城県南水道企業団の池辺勝幸企業長（牛久市長）と副企業長（取手市長、龍ヶ崎市長、利根町長）、地元県議会議員が、平成26年9月29日、茨城県に対し受水料金の値下げを要望しました。



■提出参加者 茨城県南水道企業団 企業長 池辺勝幸（牛久市長）、副企業長 藤井信吾（取手市長）、
副企業長 中山一生（龍ヶ崎市長）、副企業長 遠山務（利根町長）
茨城県議会議員 中村修氏（取手市）、山岡恒夫氏（牛久市）、萩原勇氏（龍ヶ崎市）

要望では、中島敏之企業局長に、現在、水道事業を取り巻く環境は、人口減少に加え、節水機器の普及、企業の操業規模縮小や地下水利用等による水需要が減少傾向にあり大変厳しい状況下にあることを説明。

企業団では、合理性と能率性を最大限に発揮するための経営改善に取り組んでいるが、中でも県企業局へ支払う受水費が費用割合の5割を超え、平成25年度決算では水の原価（給水原価）が給水収益（供給単価）を上回り、原価割れ状況が続いており、事業経営に大きな影響を及ぼしていることを強調し、値下げ実現を強く要望しました。

県企業局の県南広域水道用水供給事業は、県南水道企業団（牛久市、取手市、龍ヶ崎市、利根町）と土浦市、つくば市、守谷市、稲敷市、阿見町、河内町、美浦村に供給しています。